



令和6年度全国学力・学習状況調査結果(数学)を受けての取組を紹介をします。今後の取組に活かしていきましょう。

関数の特徴を調べるための**式**と**グラフ**を関連付けることはできているが、
実際生活の課題を**解決する方法を説明する**ことに課題がある。 問題8 (2)

見通しを立てて考えを進める。

A 式を用いる場合

④それぞれのよさを考える

B グラフを用いる場合

①

• x と y が何を表しているかを**確認する**。

②

• 調べたいことを求めるために、 x と y に**何を代入すれば**よいか考える。

③

• ①と②を**自らが説明する**。

①

• 2つのグラフの特徴を**確認する**。

②

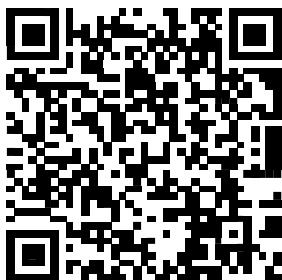
• 調べたいことを求めるために、グラフの**どの部分を読み取れば**よいか考える。

③

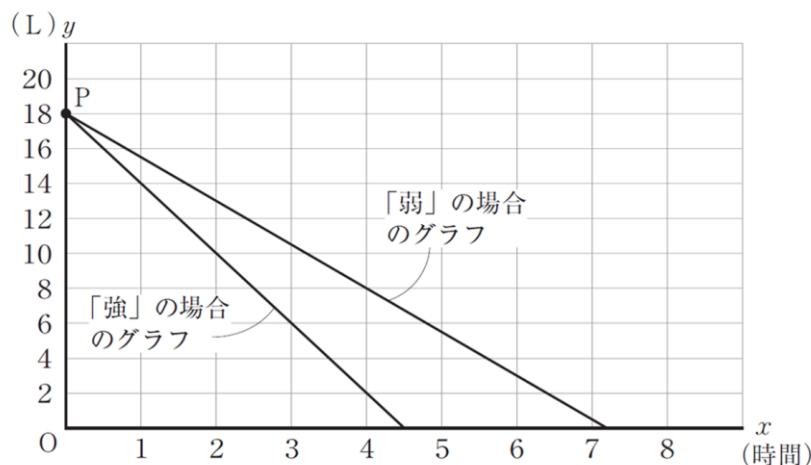
• ①と②を**自らが説明する**。

「強」の場合の式 $y = -4x + 18$

「弱」の場合の式 $y = -2.5x + 18$



【参考】全国学力・学習状況調査の結果
国立教育政策研究所



授業実践の流れ

①

• 新たな課題に**挑戦する**！

②

• **既習の知識・技能を活用**して、再度①の課題に挑戦する！！

③

• **自分たちの力で課題解決する**ことで、新たな知識・技能を習得！！！！

生徒にとって、教師が準備したものに取り組んでいるという意識ではなく、**生徒自らが考え、解決したかのような授業づくりが大切です！！**



徳島県中学校数学活用問題を
活用しましょう！！



徳島県学習ガイド関係資料
中学校数学 活用問題